

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

ESF2-SD Version 2.0

<操作マニュアル>

Emborick

目 次

EBH2シリーズ 騒音振動日報 for SDカード

使用前の準備	2
起動方法	3
測定場所情報の登録	4
規制値設定	5
メイン画面	6
データ取り込み	7
騒音データ表示	9
騒音グラフ印刷	12
振動データ表示	14
振動グラフ印刷	17
日報印刷	19
日報印刷プレビュー	22
バックアップ	25
バックアップの復元	26
測定場所情報の変更・削除	27
測定データの削除	28
オプション	29
ソフトの終了	30

使用前の準備

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

動作環境

Windows 2000 SP3

Windows XP Professional SP2 (Home は非対応)

C P U : Celeron 1.8GHz 同等以上 (推奨 : Core2Duo 1.86GHz 以上)

メモリ : 512MB 以上 (推奨 : 1GB 以上)

HDD 空き容量 : 5GB 以上 (測定期間に左右されます)

Windows Vista (Home Basic は非対応)

Windows 7

C P U : Core Solo 1.8GHz 同等以上 (推奨 : Core2Duo 1.86GHz 以上)

メモリ : 1GB 以上 (推奨 : 2GB 以上)

HDD 空き容量 : 5GB 以上 (測定期間に左右されます)

モニタ解像度 : 1024 × 768 以上

必要デバイス : 空き USB ポート 1箇所 (USB キー)

SD カードリーダー

必須コンポーネント : .Net Framework2.0

Crystal Reports for .Net Framework2.0

(※インストールされていない場合は、はじめにインストールが行われます。)

「騒音振動日報 for SD カード」アプリケーションのインストール

1. CD-ROM ドライブに「騒音振動日報 for SDカード」のCD-ROMを挿入します。
2. 通常は、そのままお待ちいただければ自動でインストールが開始されます。
インストールが開始されない場合は、マイコンピュータからCD-ROMをダブルクリックして直接起動してください。
3. インストールされていない場合は、必須コンポーネントのインストールが開始されます。
4. 「騒音振動日報 for SDカード」のインストールが開始されます。
5. USBキードライバのインストールが開始されます。

※詳細な手順は付属のインストールマニュアルを参照してください。

起動方法

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

起動方法

1. SDカードリーダーの接続を確認します。

2. SDカードを挿入してください。

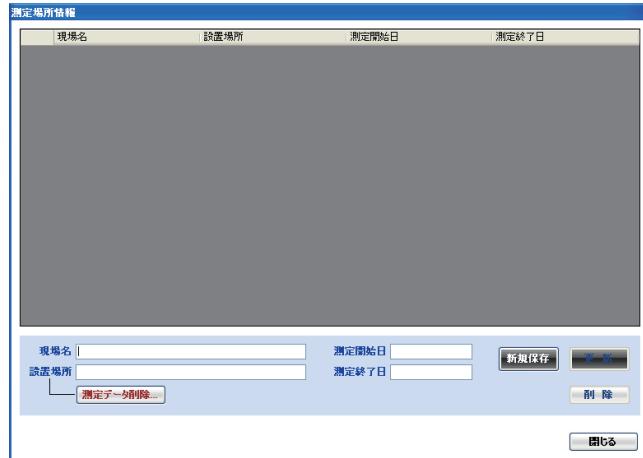
3. 付属のUSBキーを挿入してください。

4. 騒音振動日報アプリケーションの起動を行います。

[スタート]—[すべてのプログラム]—[EBH2]—[騒音振動日報 for SDカード]-[騒音振動日報 for SDカード]をクリックします。起動には10秒ほど要する場合がありますので、そのままお待ち下さい。

5. 初めて起動する場合や、測定場所情報が1箇所も登録されていない場合は、最初に測定場所情報の登録画面が開きます。
必ず、1箇所以上の測定場所情報を登録してください。

※バックアップの復元を行う場合は、
何も登録せずに[閉じる]ボタンを
クリックしてください。



測定場所情報の登録

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

測定場所情報の登録

測定場所情報の登録を行います。

測定場所情報

現場名	設置場所	測定開始日	測定終了日

現場名 設置場所 測定開始日 測定終了日

- ① 新しく測定場所を登録します。

「現場名」と「設置場所」を必ず入力し、必要に応じて「測定開始日」と「測定終了日」を入力してください。

現場名：現場名を入力してください。日本語入力可 [必須]

設置場所：設置場所名を入力してください。日本語入力可 [必須]

計測開始日：yyyy/mm/dd 形式で日付を入力してください。

計測終了日：yyyy/mm/dd 形式で日付を入力してください。

※ 「現場名」と「設置場所」はそのまま保存フォルダ名になるため、フォルダ名に使えない文字は入力できません。

- ② [新規保存]ボタンをクリックします。

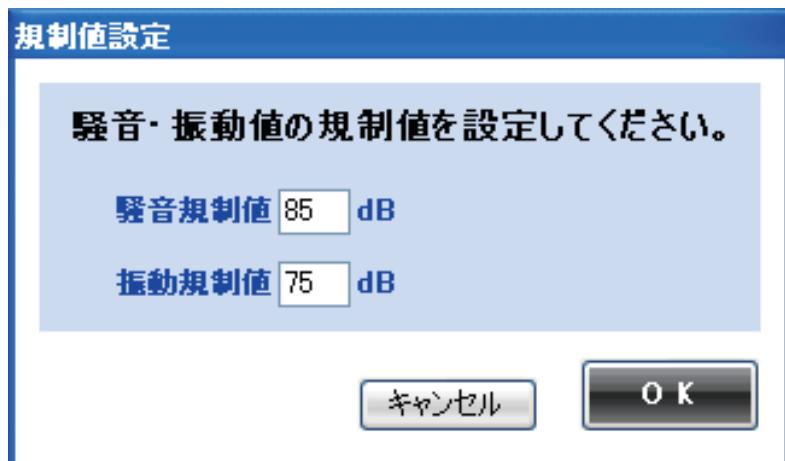
- ③ 新しい測定場所情報が一覧に表示され、登録の完了です。

規制値設定

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

規制値設定

騒音・振動の規制値を設定します。ここで設定した規制値は、グラフにラインで示されます。



- ① 騒音・振動の規制値を入力します。入力できる数字は、整数のみです。
- ② [OK]ボタンをクリックします。

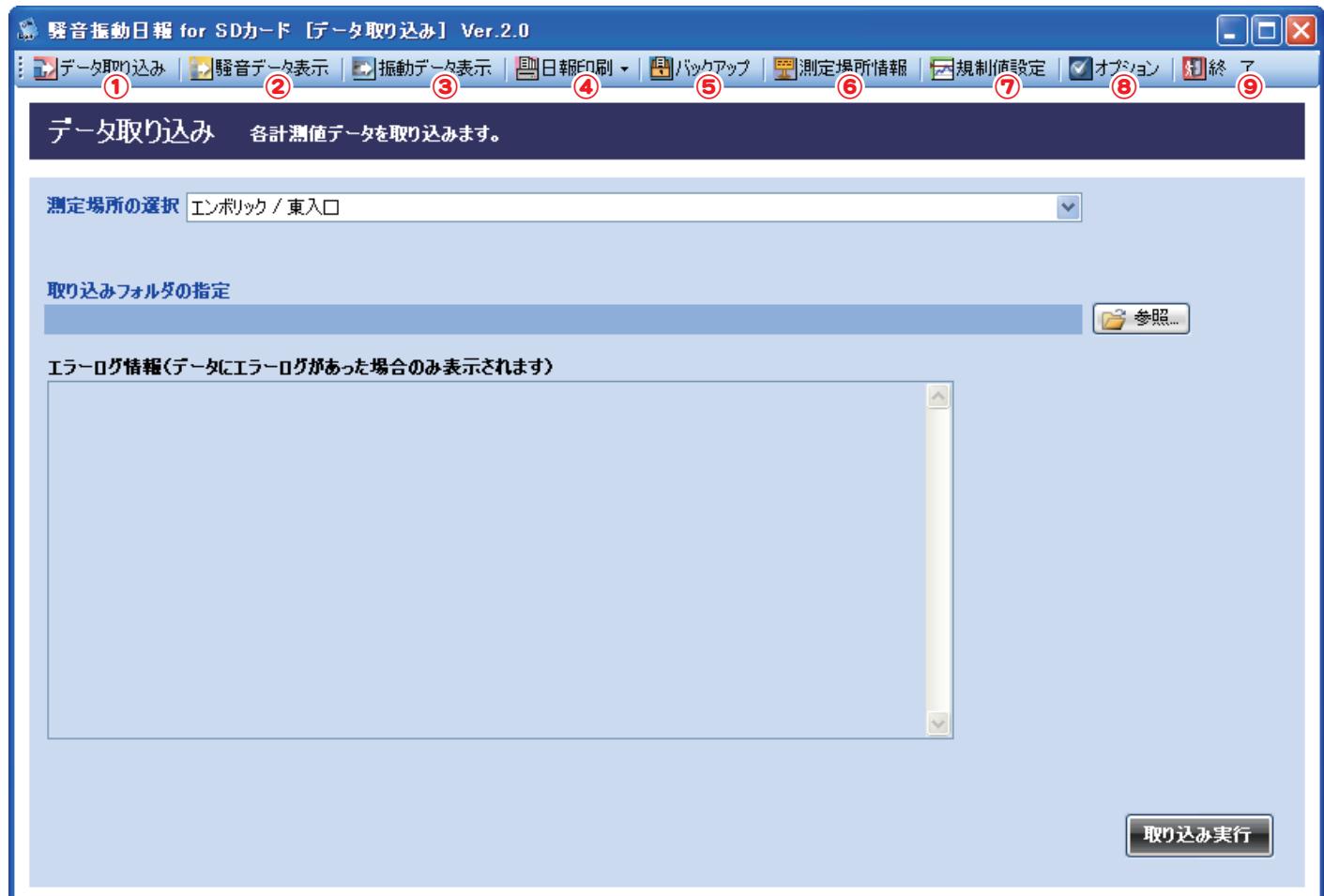
メイン画面

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

メイン画面

ソフト起動時のメイン画面です。

通常はデータ取り込み画面が開きますが、1箇所も測定場所情報が登録されていない場合は、最初に測定場所情報の画面が開きます。



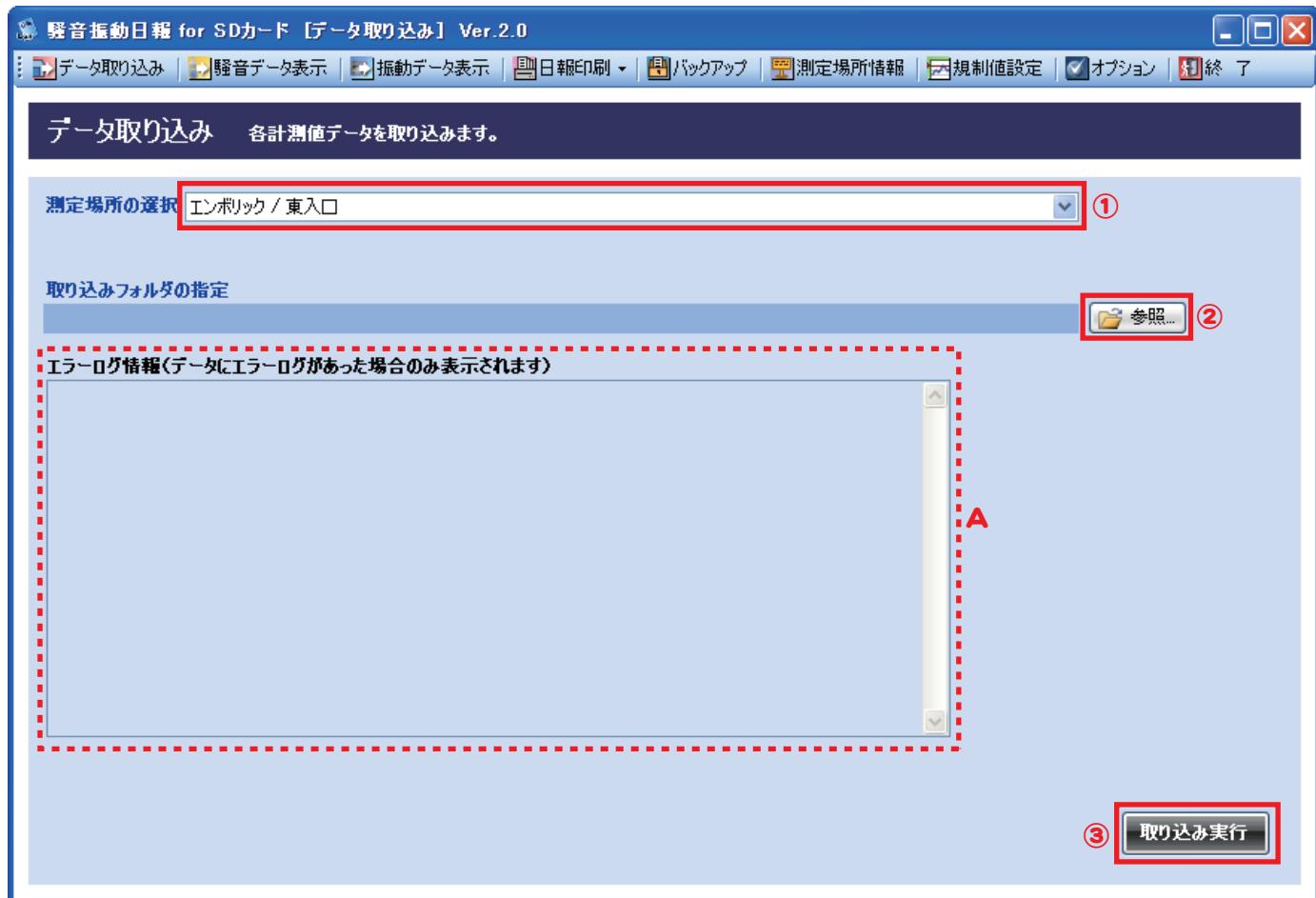
- ① データ取り込み……EBH2シリーズで保存されたSDカードから、測定データを取り込みます。
- ② 騒音データ表示……取り込んだ騒音データの測定値を表示・印刷します。
- ③ 振動データ表示……取り込んだ振動データの測定値を表示・印刷します。
- ④ 日報印刷……取り込んだ騒音・振動データから日報を作成します。
【通常印刷】 【10分演算】 【1時間演算】 から印刷したい日報を選びます。
- ⑤ バックアップ……取り込んだ騒音・振動データを外部メディアなどにバックアップします。
- ⑥ 測定場所情報……データ取り込みの際に指定する、測定場所の登録・変更を行います。
- ⑦ 規制値設定……騒音・振動グラフの規制値を設定します。
- ⑧ オプション……既定の保存先などを設定します。
- ⑨ 終了……ソフトを終了します。

データ取り込み

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

データ取り込み

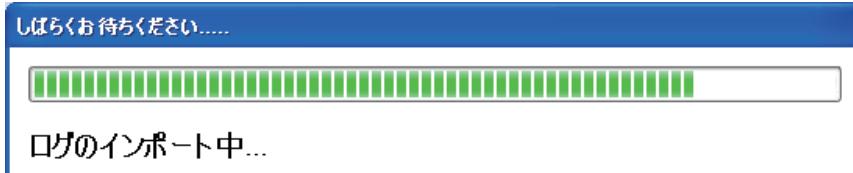
SDカードから測定データの取り込みを行います。



① 測定場所を選択します。

② [参照...]ボタンをクリックし、取り込むデータの場所を指定します。

③ [取り込み実行]ボタンをクリックすると、取り込みが開始されて進行状況を知らせる画面が表示されます。そのまま完了するまで、パソコンの操作等を行わずに待ち下さい。

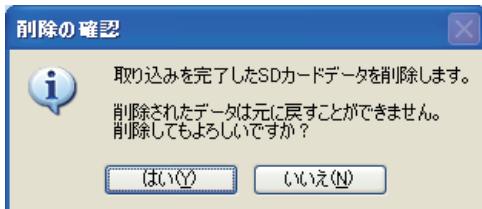


A. データ取り込み時にエラーが発生した場合のみ、その詳細なログ情報を表示します。
何も問題なく取り込みが行われた場合は、何も表示されません。

データ取り込み

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

- ④ オプションで「取り込みを完了したSDカードデータを削除する」がチェックされていて、取り込みフォルダでSDカードなどのリムーバブルディスクを指定した場合は、削除の確認メッセージが表示されます。削除を行つてもよい場合は[はい]ボタンを、削除を行わない場合は[いいえ]ボタンをクリックしてください。



- ⑤ 図5-1か図5-2のどちらかが表示されたら完了です。

すべてのファイルが問題なく取り込まれた場合は図5-1が表示され、1つでも取り込まれないファイルがあった場合は図5-2が表示されます。



図5-1

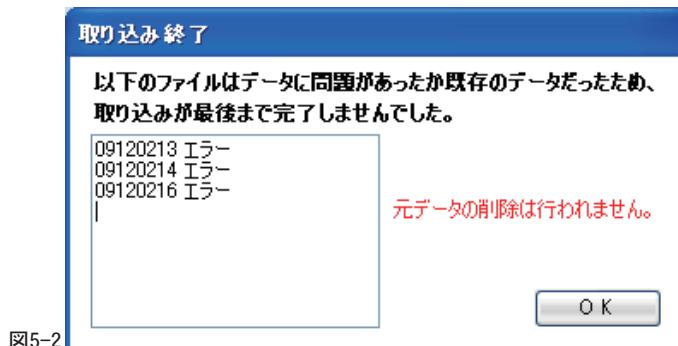


図5-2

既存：同じファイル名のデータがすでに取り込まれているため、取り込みません。
エラー：データに問題があり、処理が完了しませんでした。
完全、または一部が取り込まれませんでした。

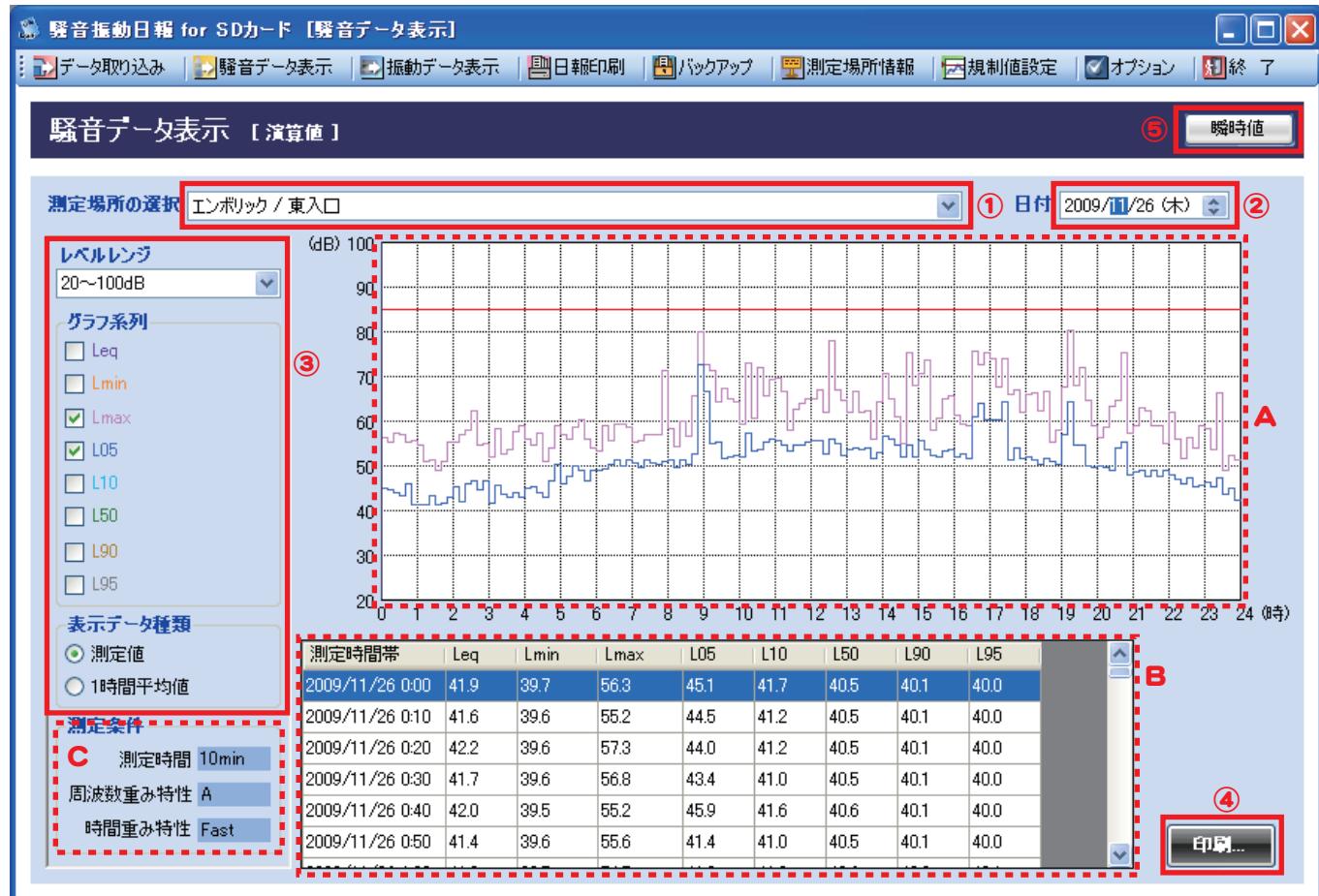
1つでも取り込まれないファイルがあった場合は、オプションの設定に関係なく手順④の削除処理は行われません。

騒音データ表示

EBH2シリーズ 騒音振動日報 for SDカード

騒音データ表示 (演算値)

騒音データの演算値を表示・印刷します。



- ① データを表示する測定場所を選択します。
 - ② データを表示する日付を選択します。
データの存在する日付は、黄色で示されます。

- ③ 表示するグラフの各種設定を行います。
 - ④ [印刷...] ボタンをクリックすると、印刷プレビュー画面が表示されます。
印刷プレビュー画面が表示されるまで数秒ほど要する場合がありますが、そのままお待ち下さい。
 - ⑤ [瞬時値] ボタンをクリックすると、瞬時値画面に切り替わります。

- A. 規制値を赤線で示したグラフを表示します。グラフは、左側の設定を変更することで変化します。
 - B. 演算値を表示します。
 - C. 測定条件を表示します

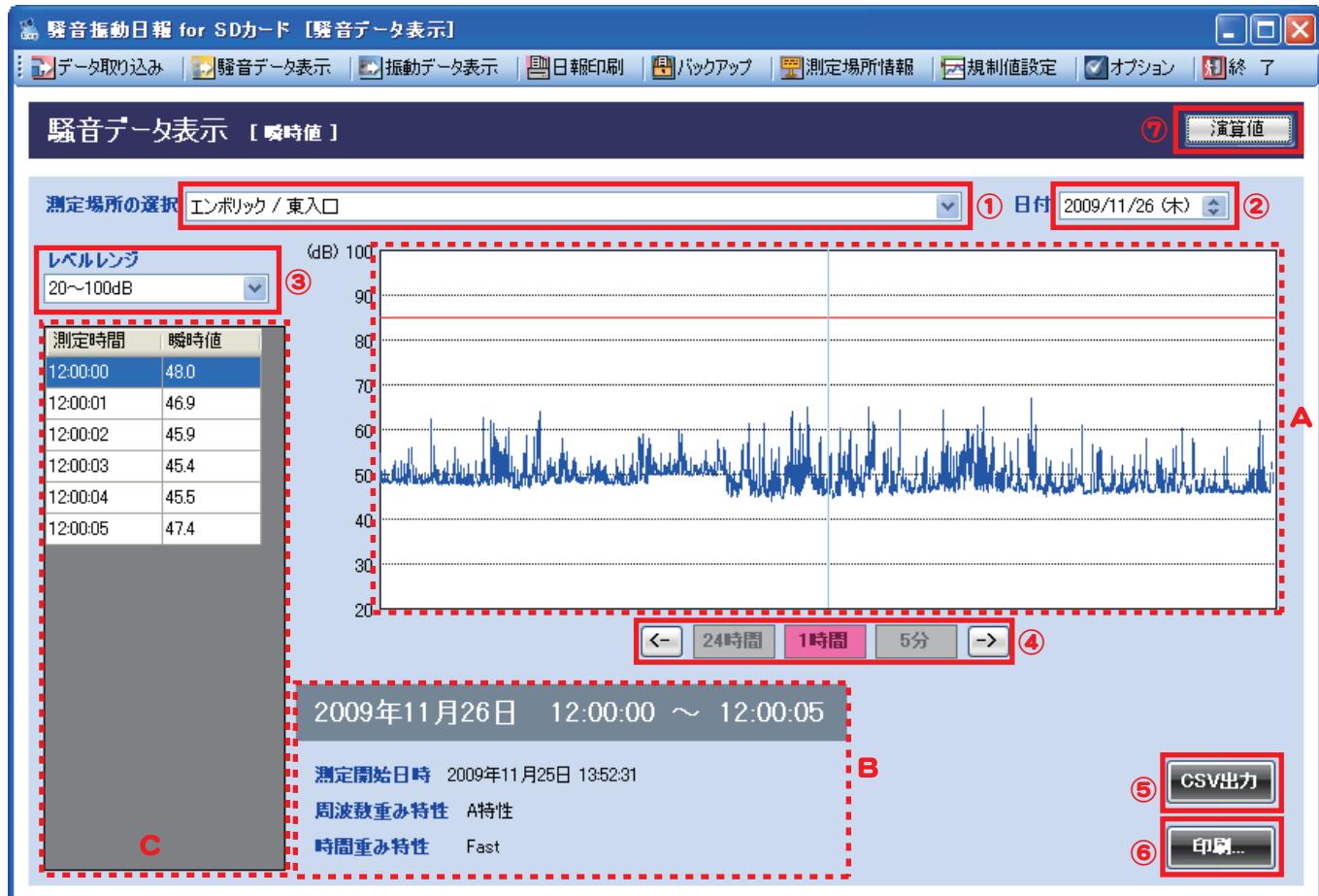
※条件の値は、一番最初の演算値のヘッダ情報から取得しています。

騒音データ表示

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

騒音データ表示（瞬時値）

騒音データの瞬時値を表示・印刷します。



① データを表示する測定場所を選択します。

② データを表示する日付を選択します。

データの存在する日付は、黄色で示されます。

データのある日付をクリックすると、読み込みが開始されます。

データの読み込みには数十秒ほど要する場合があります。
そのままお待ちください。



③ 表示するグラフのレベルレンジを選択します。

④ 表示するグラフの時間を変更することができます。

[1時間]と[5分]の場合のみ、左右のボタンでグラフの移動が可能です。

⑤ [CSV出力]ボタンをクリックすると、グラフで表示している範囲のデータをCSVファイルに保存します。

重要

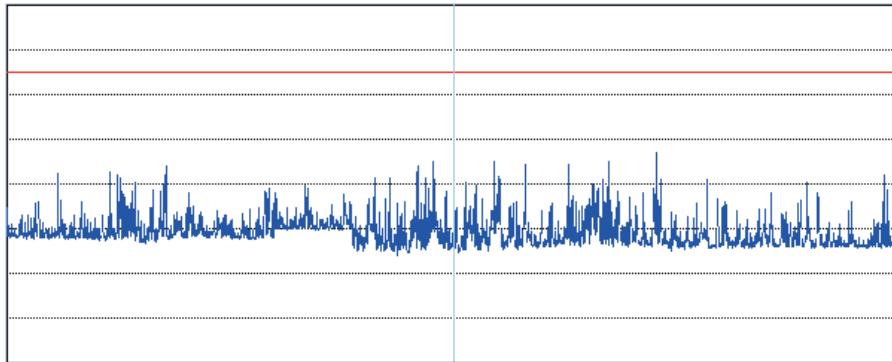
[24時間]表示で出力を行った場合、Excel2003以前のバージョンではデータ数の制限(65536行)によりすべてのデータを表示することができません。

騒音データ表示

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

- ⑥ [印刷...]ボタンをクリックすると、印刷プレビュー画面が表示されます。
印刷プレビュー画面が表示されるまで数秒ほど要する場合がありますが、そのままお待ち下さい。
- ⑦ [演算値]ボタンをクリックすると、演算値画面に切り替わります。
- A. 規制値を赤線で示したグラフを表示します。
B. グラフ上のラインの情報を表示します。
C. グラフ上のラインの瞬時値を表示します。

◎グラフ上での操作



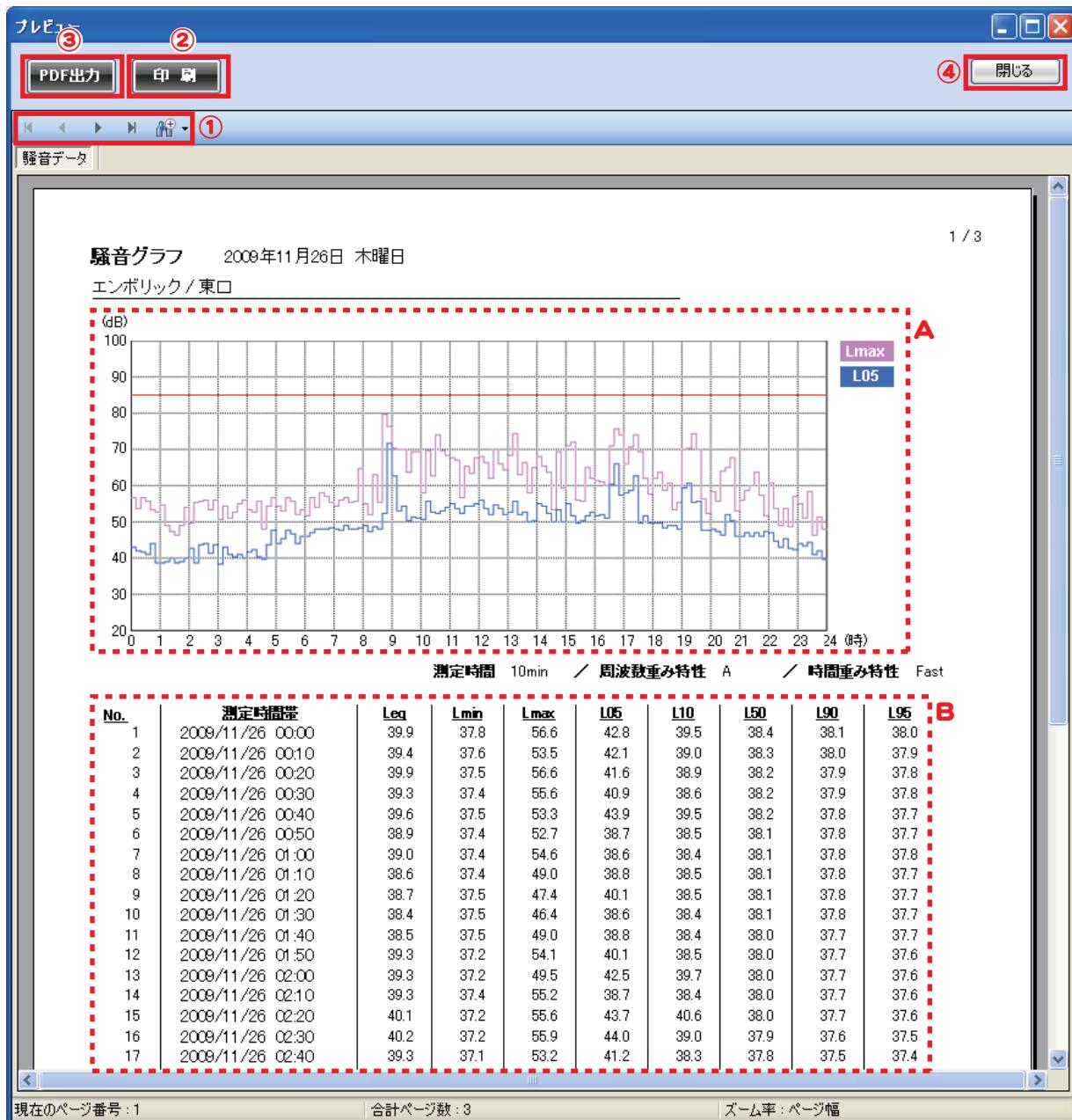
グラフ上でマウスの左ボタンをクリックすると、ラインを動かすことが出来るようになります。
もう一度クリックすると、その場所にラインが固定されます。
また、キーボードの矢印キーの「←」と「→」でラインを1メモリずつ動かすことが出来ます。

騒音グラフ印刷

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

騒音グラフ印刷（演算値）

騒音データ表示画面で選択した内容のプレビューを確認し、印刷を行います。



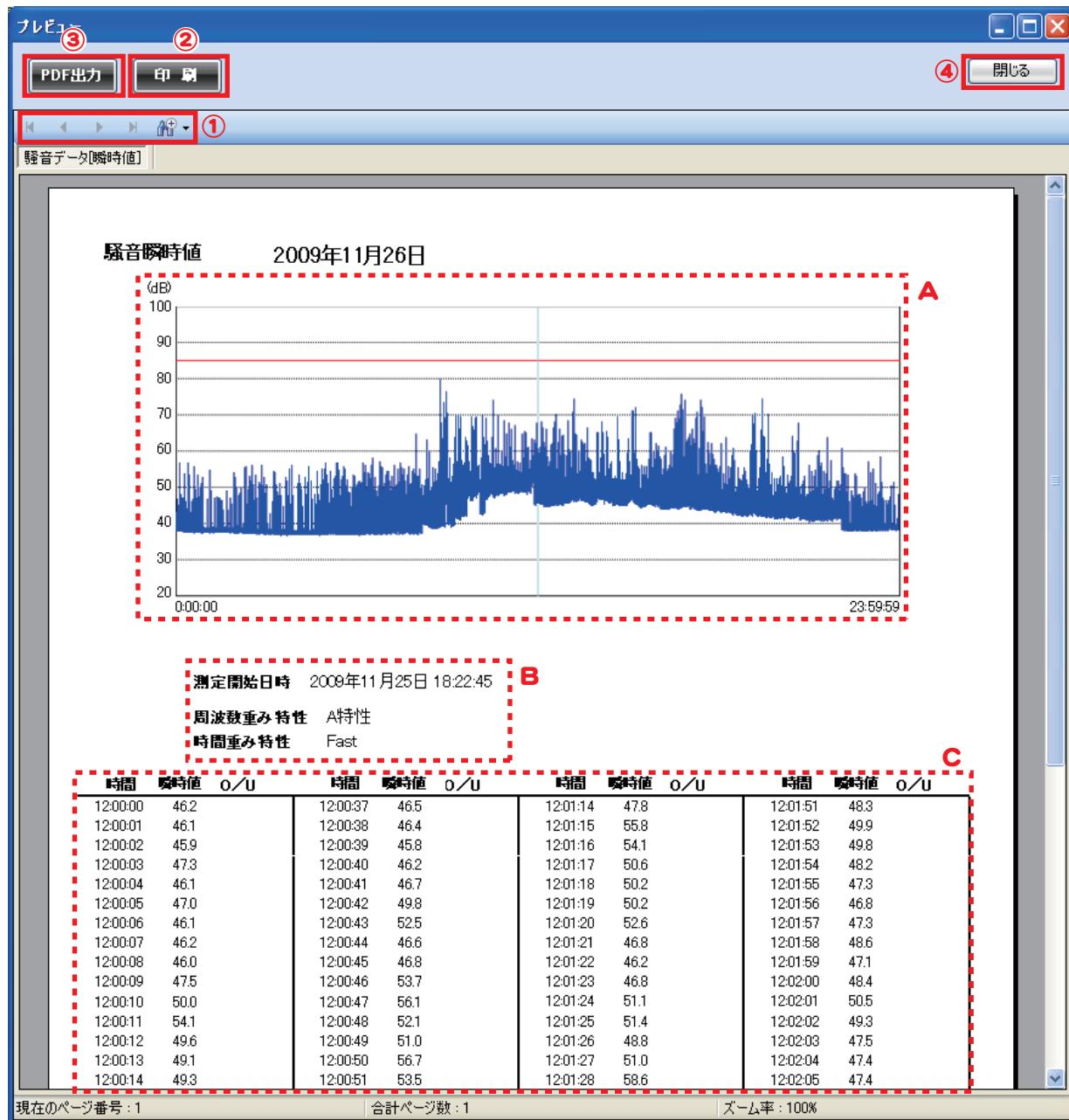
- ① プレビュー表示の拡大縮小や、ページの変更を行うことができます。
 - ② [印刷]ボタンをクリックすると、プリンタの設定画面が開き印刷を行うことができます。
 - ③ [PDF出力]ボタンをクリックすると、PDFファイルとして保存することができます。
 - ④ [閉じる]ボタンをクリックすると、プレビュー画面を閉じます。
- A. 印刷するグラフが表示されます。
B. 印刷する演算値が表示されます。

騒音グラフ印刷

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

騒音グラフ印刷（瞬時値）

騒音データ表示画面で選択した内容のプレビューを確認し、印刷を行います。



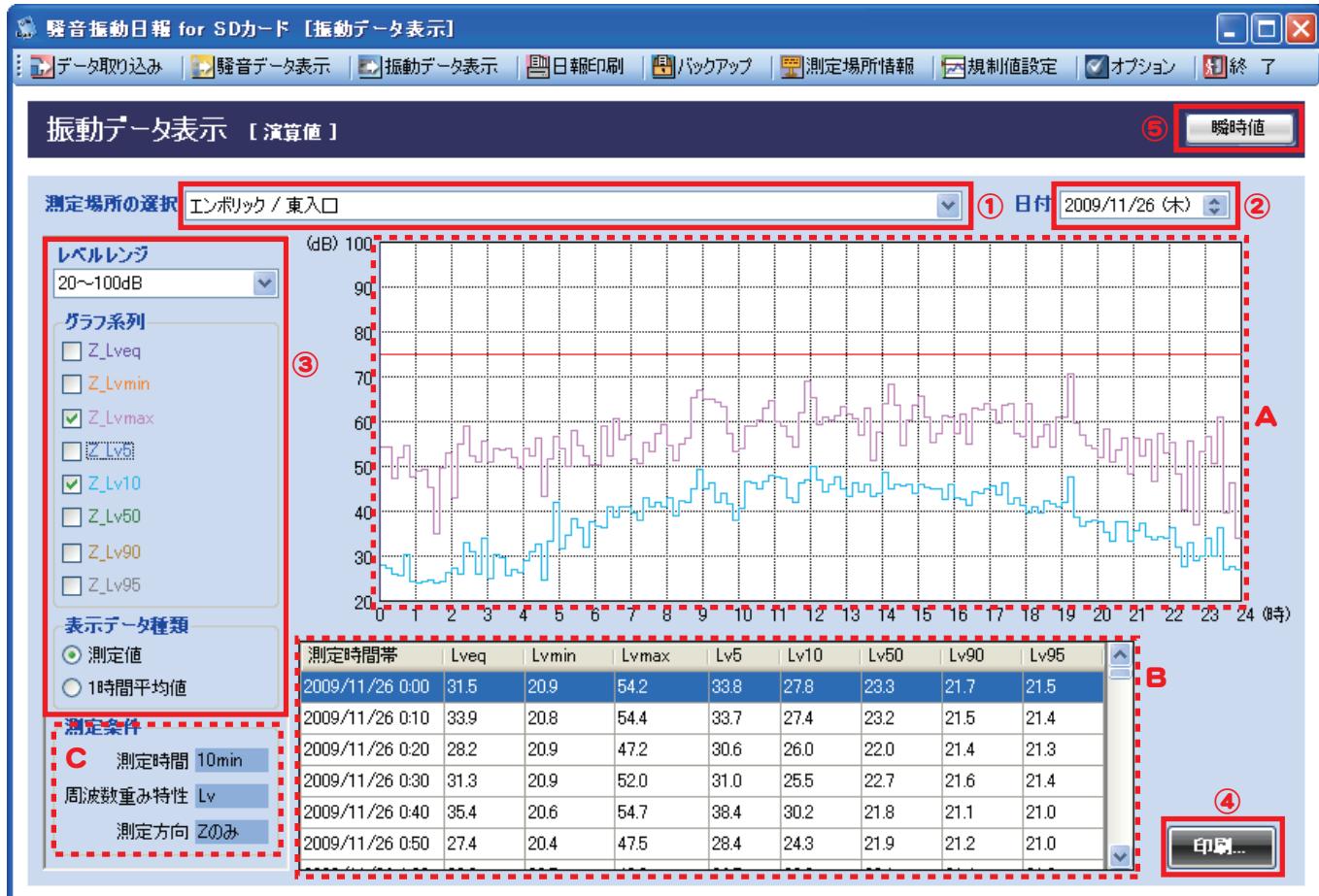
- ① プレビュー表示の拡大縮小や、ページの変更を行うことができます。
 - ② [印刷]ボタンをクリックすると、プリンタの設定画面が開き印刷を行うことができます。
 - ③ [PDF出力]ボタンをクリックすると、PDFファイルとして保存することができます。
 - ④ [閉じる]ボタンをクリックすると、プレビュー画面を閉じます。
- A. 印刷するグラフが表示されます。表示するデータの位置がラインで示されます。
B. グラフのライン位置のヘッダ情報が表示されます。
C. グラフのライン位置の瞬時値が表示されます。

振動データ表示

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

振動データ表示（演算値）

振動データの演算値を表示・印刷します。



③ 表示するグラフの各種設定を行います。

④ [印刷...]ボタンをクリックすると、印刷プレビュー画面が表示されます。

印刷プレビュー画面が表示されるまで数秒ほど要する場合がありますが、そのままお待ち下さい。

⑤ [瞬時値]ボタンをクリックすると、瞬時値画面に切り替わります。

- A. 規制値を赤線で示したグラフを表示します。グラフは、左側の設定を変更することで変化します。
B. 演算値を表示します。
C. 測定条件を表示します。

※条件の値は、一番最初の測定値のヘッダ情報から取得しています。

振動データ表示

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

振動データ表示（瞬時値）

振動データの瞬時値を表示・印刷します。



① データを表示する測定場所を選択します。

② データを表示する日付を選択します。

データの存在する日付は、黄色で示されます。

データのある日付をクリックすると、読み込みが開始されます。

データの読み込みには数十秒ほど要する場合があります。
そのままお待ちください。



③ 表示するグラフのレベルレンジを選択します。

④ 表示するグラフの時間を変更することができます。

[1時間]と[5分]の場合のみ、左右のボタンでグラフの移動が可能です。

⑤ [CSV出力]ボタンをクリックすると、グラフで表示している範囲のデータをCSVファイルに保存します。

重要

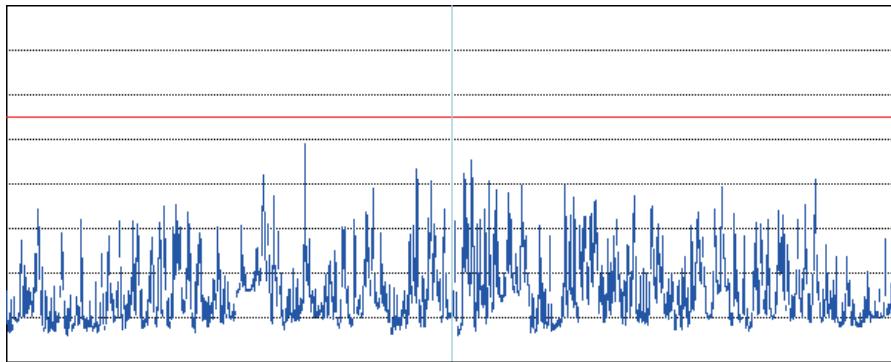
[24時間]表示で出力を行った場合、Excel2003以前のバージョンではデータ数の制限(65536行)によりすべてのデータを表示することができません。

振動データ表示

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

- ⑥ [印刷...]ボタンをクリックすると、印刷プレビュー画面が表示されます。
印刷プレビュー画面が表示されるまで数秒ほど要する場合がありますが、そのままお待ち下さい。
- ⑦ [演算値]ボタンをクリックすると、演算値画面に切り替わります。
 - A. 規制値を赤線で示したグラフを表示します。
 - B. グラフ上のラインの情報を表示します。
 - C. グラフ上のラインの瞬時値を表示します。

◎グラフ上での操作



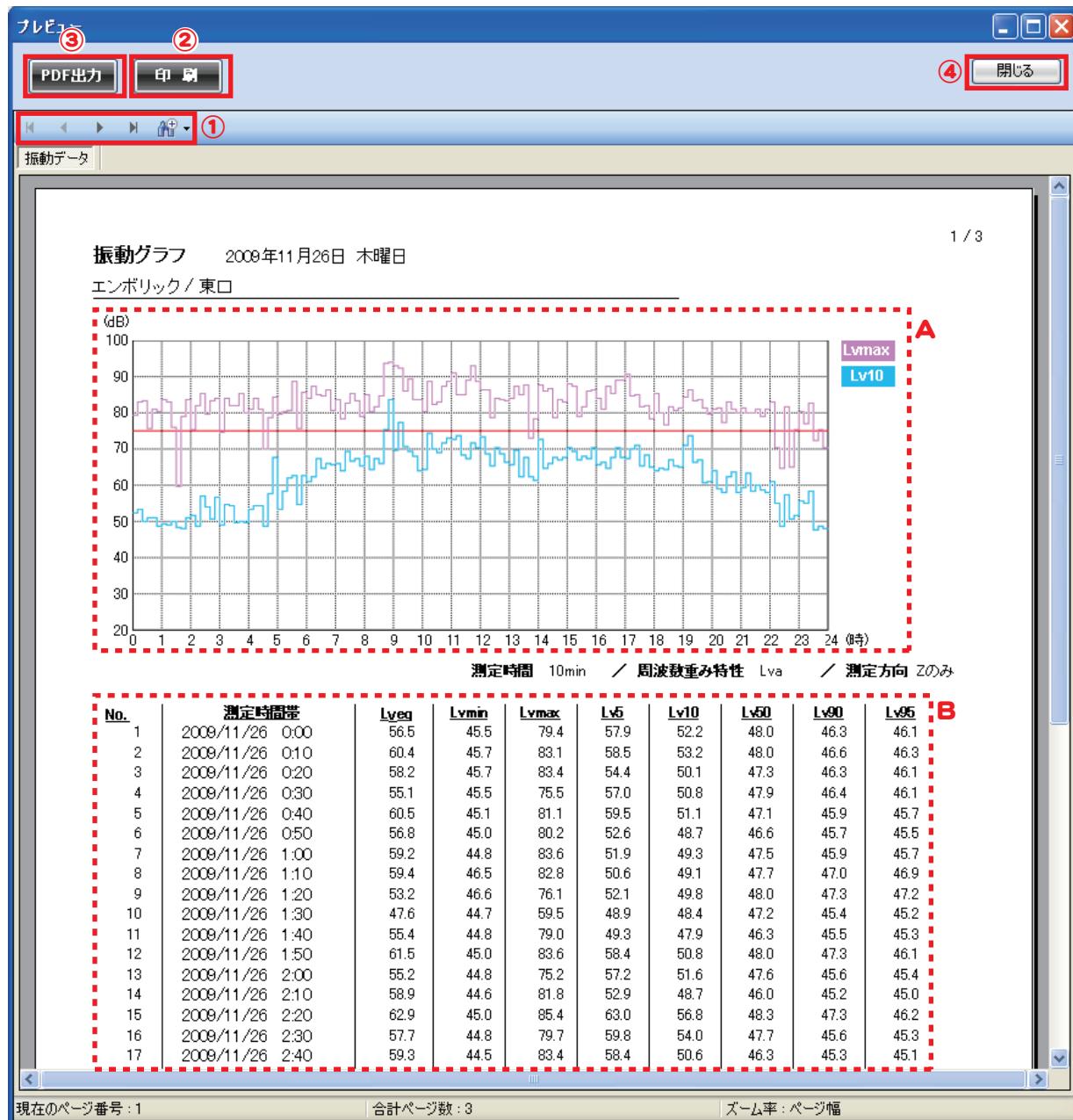
グラフ上でマウスの左ボタンをクリックすると、ラインを動かすことが出来るようになります。
もう一度クリックすると、その場所にラインが固定されます。
また、キーボードの矢印キーの「←」と「→」でラインを1メモリずつ動かすことが出来ます。

振動グラフ印刷

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

振動グラフ印刷（演算値）

振動データ表示画面で選択した内容のプレビューを確認し、印刷を行います。



- ① プレビュー表示の拡大縮小や、ページの変更を行うことができます。
- ② [印刷]ボタンをクリックすると、プリンタの設定画面が開き印刷を行うことができます。
- ③ [PDF出力]ボタンをクリックすると、PDFファイルとして保存することができます。
- ④ [閉じる]ボタンをクリックすると、プレビュー画面を閉じます。

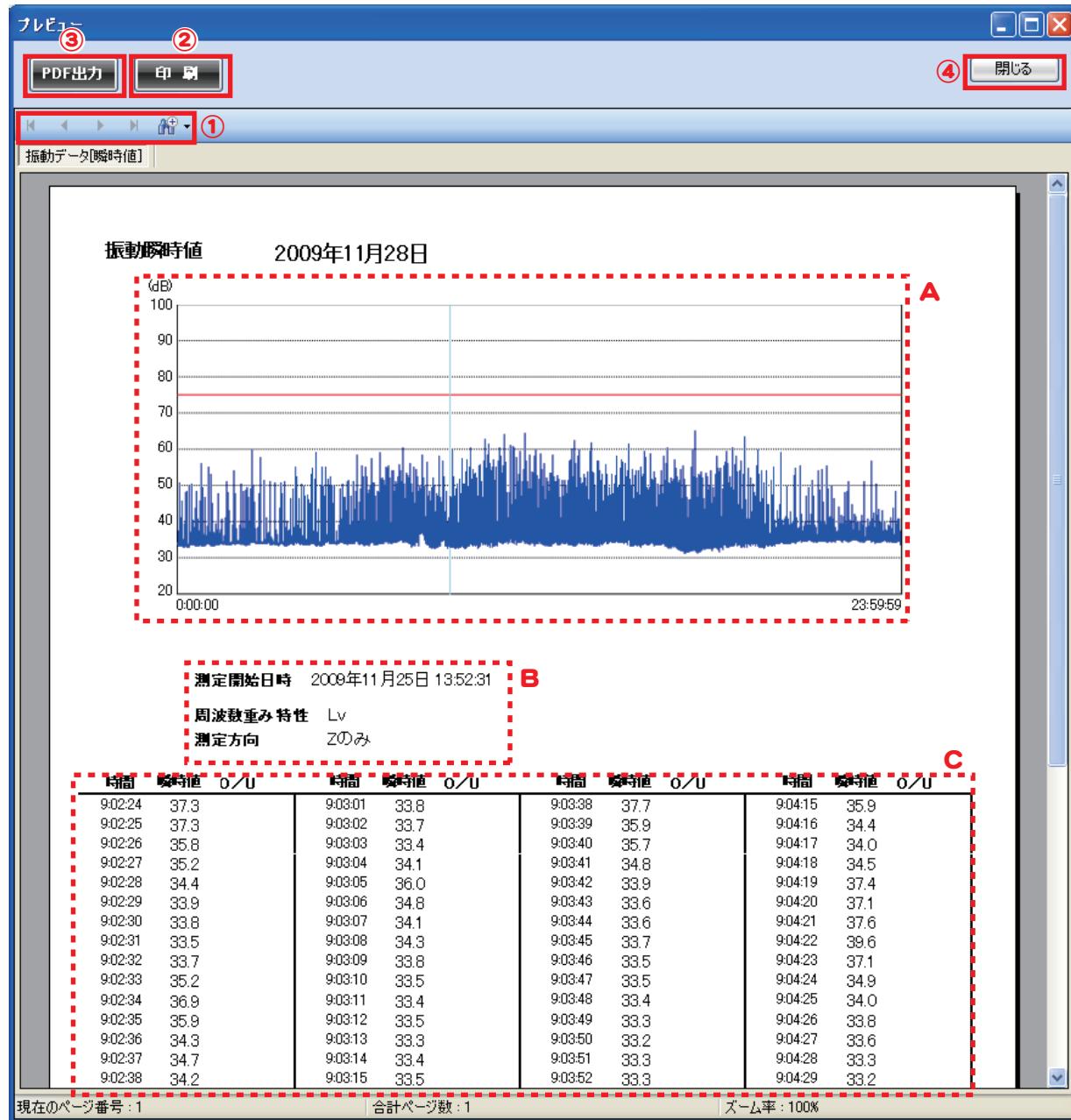
- A. 印刷するグラフが表示されます。
B. 印刷する測定値が表示されます。

振動グラフ印刷

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

振動グラフ印刷（瞬時値）

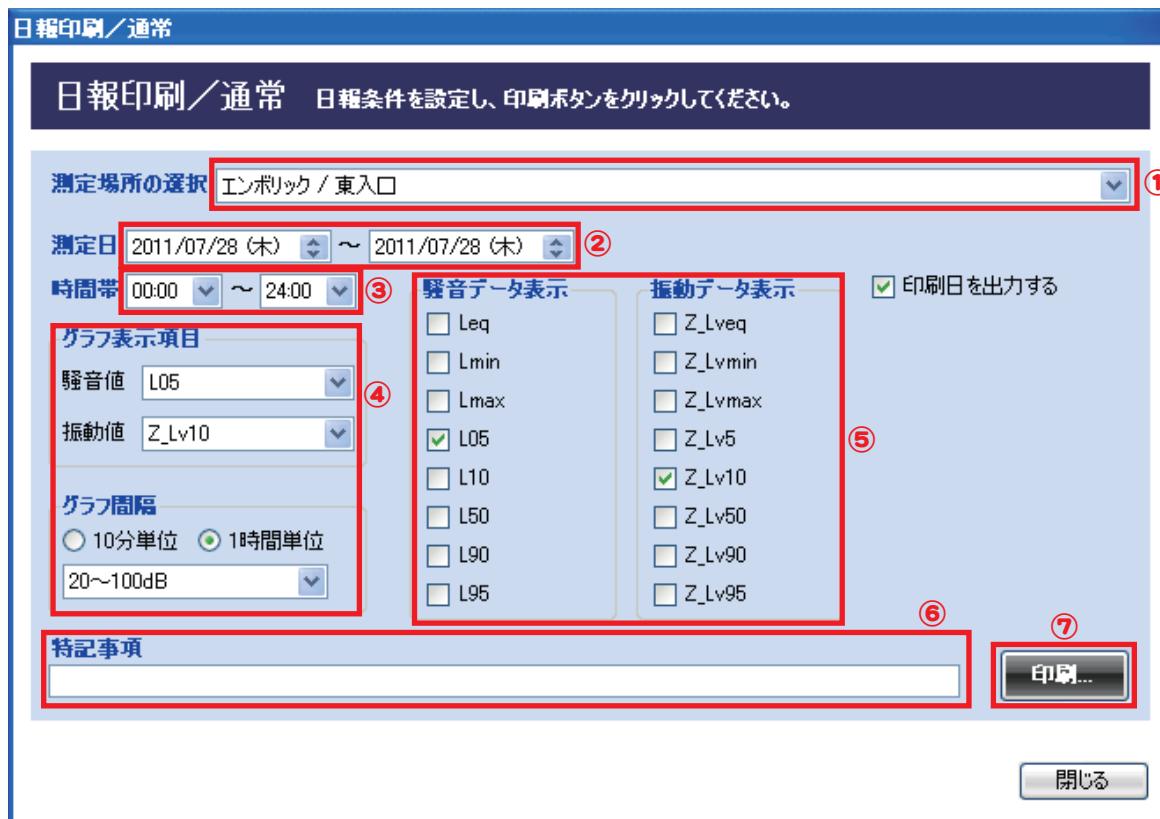
振動データ表示画面で選択した内容のプレビューを確認し、印刷を行います。



- ① プレビュー表示の拡大縮小や、ページの変更を行うことができます。
 - ② [印刷]ボタンをクリックすると、プリンタの設定画面が開き印刷を行うことができます。
 - ③ [PDF出力]ボタンをクリックすると、PDFファイルとして保存することができます。
 - ④ [閉じる]ボタンをクリックすると、プレビュー画面を閉じます。
- A. 印刷するグラフが表示されます。表示するデータの位置がラインで示されます。
B. グラフのライン位置のヘッダ情報が表示されます。
C. グラフのライン位置の瞬時値が表示されます。

日報印刷（通常印刷）

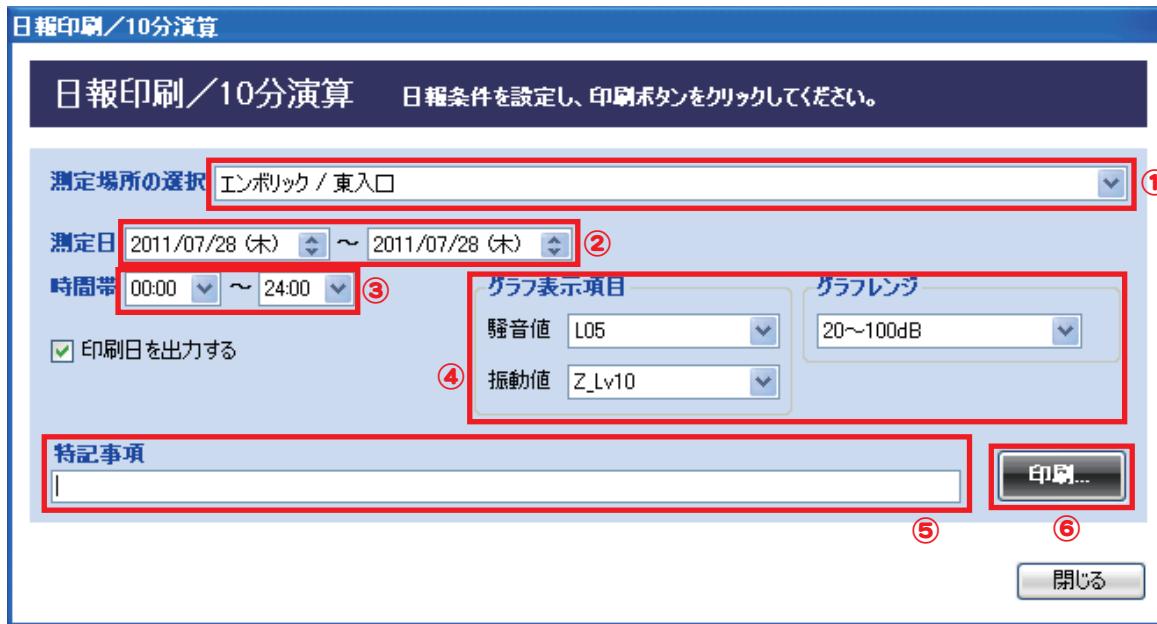
日報印刷を行います。数値は1時間演算値のみ、グラフは10分か1時間から選択して印刷できます。



- ① 印刷を行う測定場所を選択します。
- ② 印刷を行う測定日の範囲を選択します。
※指定した範囲に測定データのない日が含まれていた場合、その日も印刷されます。
- ③ 印刷を行う時間帯の範囲を選択します。
- ④ 印刷を行うグラフに表示する値、データ間隔、レベルレンジを選択します。
- ⑤ 印刷を行う測定データを選択します。
- ⑥ 必要に応じて、特記事項を入力します。
※測定日で指定した範囲の、すべての日付に印刷されます。特定の日付のみに印刷する場合は、測定日の選択で調整してください。
- ⑦ [印刷...]ボタンをクリックすると、印刷プレビュー画面が表示されます。
印刷プレビュー画面が表示されるまで数秒ほど要する場合がありますが、そのままお待ち下さい。

日報印刷（10分演算）

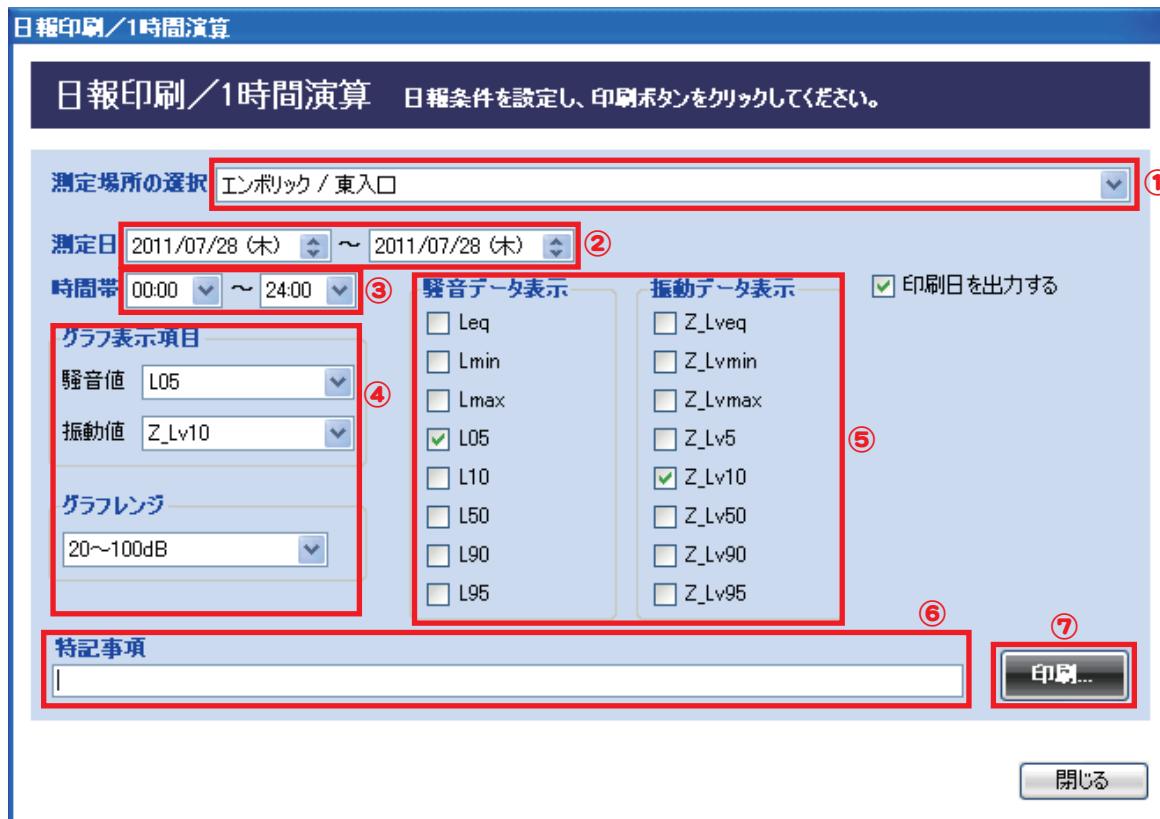
日報印刷を行います。数値、グラフとともに10分演算のみです。



- ① 印刷を行う測定場所を選択します。
- ② 印刷を行う測定日の範囲を選択します。
※指定した範囲に測定データのない日が含まれていた場合、その日も印刷されます。
- ③ 印刷を行う時間帯の範囲を選択します。
- ④ 印刷を行うグラフに表示する値、レベルレンジを選択します。
- ⑤ 必要に応じて、特記事項を入力します。
※測定日で指定した範囲の、すべての日付に印刷されます。特定の日付のみに印刷する場合は、測定日の選択で調整してください。
- ⑥ [印刷...]ボタンをクリックすると、印刷プレビュー画面が表示されます。
印刷プレビュー画面が表示されるまで数秒ほど要する場合がありますが、そのままお待ち下さい。

日報印刷（1時間演算）

日報印刷を行います。数値、グラフとともに1時間演算のみです。



① 印刷を行う測定場所を選択します。

② 印刷を行う測定日の範囲を選択します。

※指定した範囲に測定データのない日が含まれていた場合、その日も印刷されます。

③ 印刷を行う時間帯の範囲を選択します。

④ 印刷を行うグラフに表示する値、レベルレンジを選択します。

⑤ 印刷を行う測定データを選択します。

⑥ 必要に応じて、特記事項を入力します。

※測定日で指定した範囲の、すべての日付に印刷されます。特定の日付のみに印刷する場合は、測定日の選択で調整してください。

⑦ [印刷...]ボタンをクリックすると、印刷プレビュー画面が表示されます。

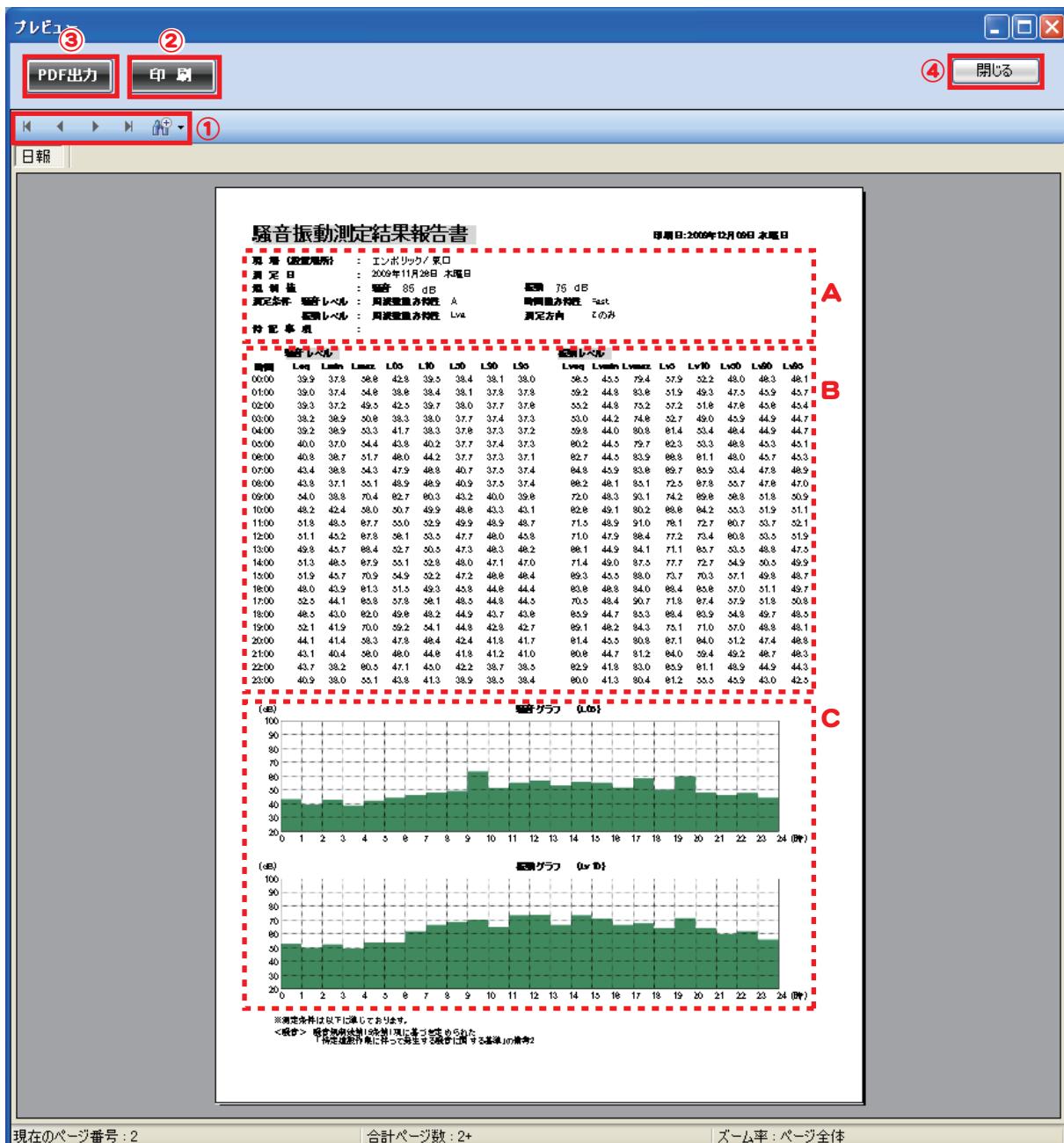
印刷プレビュー画面が表示されるまで数秒ほど要する場合がありますが、そのままお待ち下さい。

日報印刷プレビュー

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

日報印刷プレビュー（通常印刷）

日報印刷画面で選択した内容のプレビューを確認し、印刷を行います。



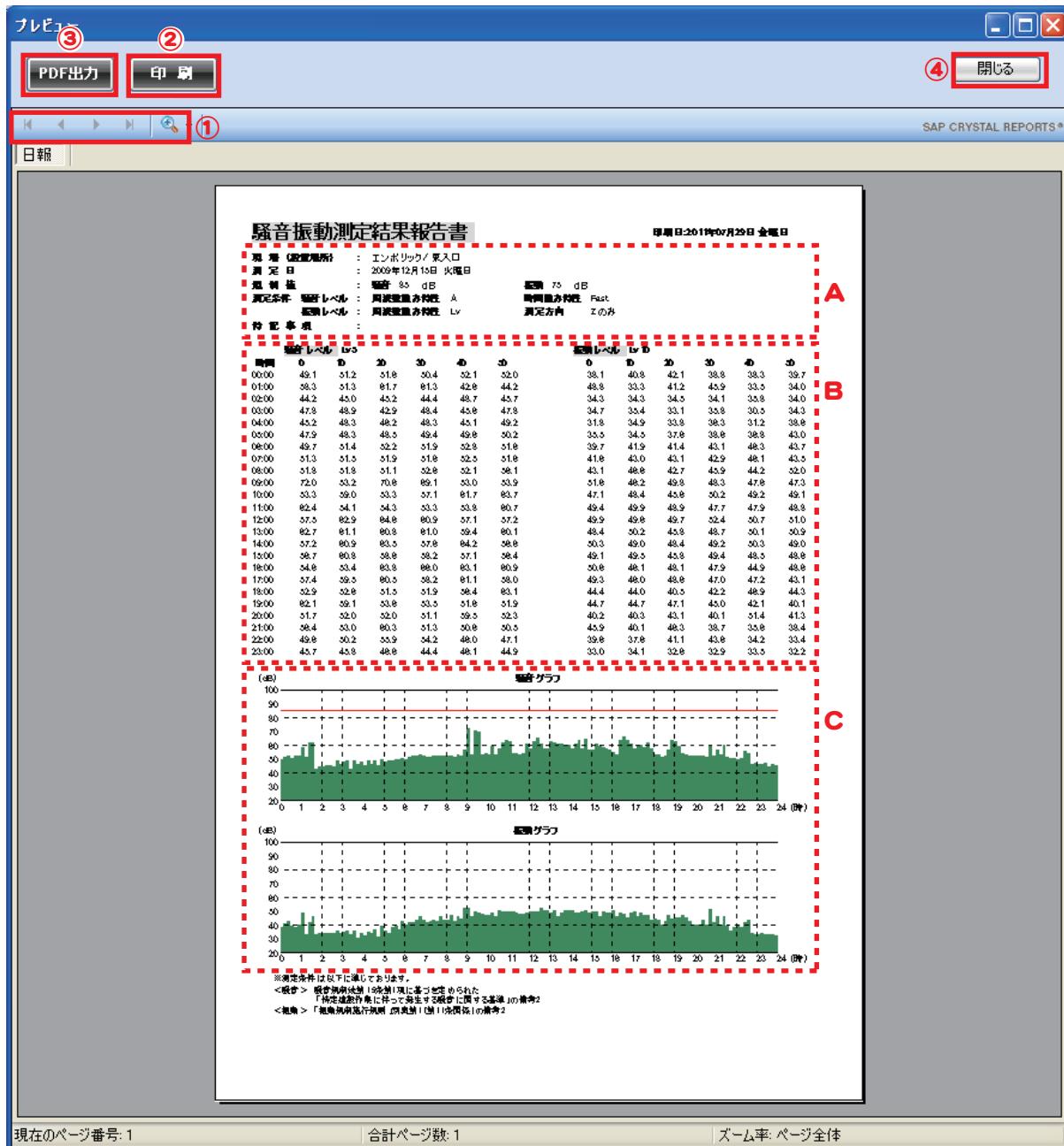
- ① プレビュー表示の拡大縮小や、ページの変更を行うことができます。
- ② [印刷]ボタンをクリックすると、プリンタの設定画面が開き印刷を行うことができます。
- ③ [PDF出力]ボタンをクリックすると、PDFファイルとして保存することができます。
- ④ [閉じる]ボタンをクリックすると、プレビュー画面を閉じます。
- A. 測定情報が表示されます。
- B. 日報画面で選択した項目の測定値(1時間平均)が表示されます。
- C. 日報画面で選択した内容のグラフが表示されます。

日報印刷プレビュー

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

日報印刷プレビュー（10分演算印刷）

日報印刷画面で選択した内容のプレビューを確認し、印刷を行います。



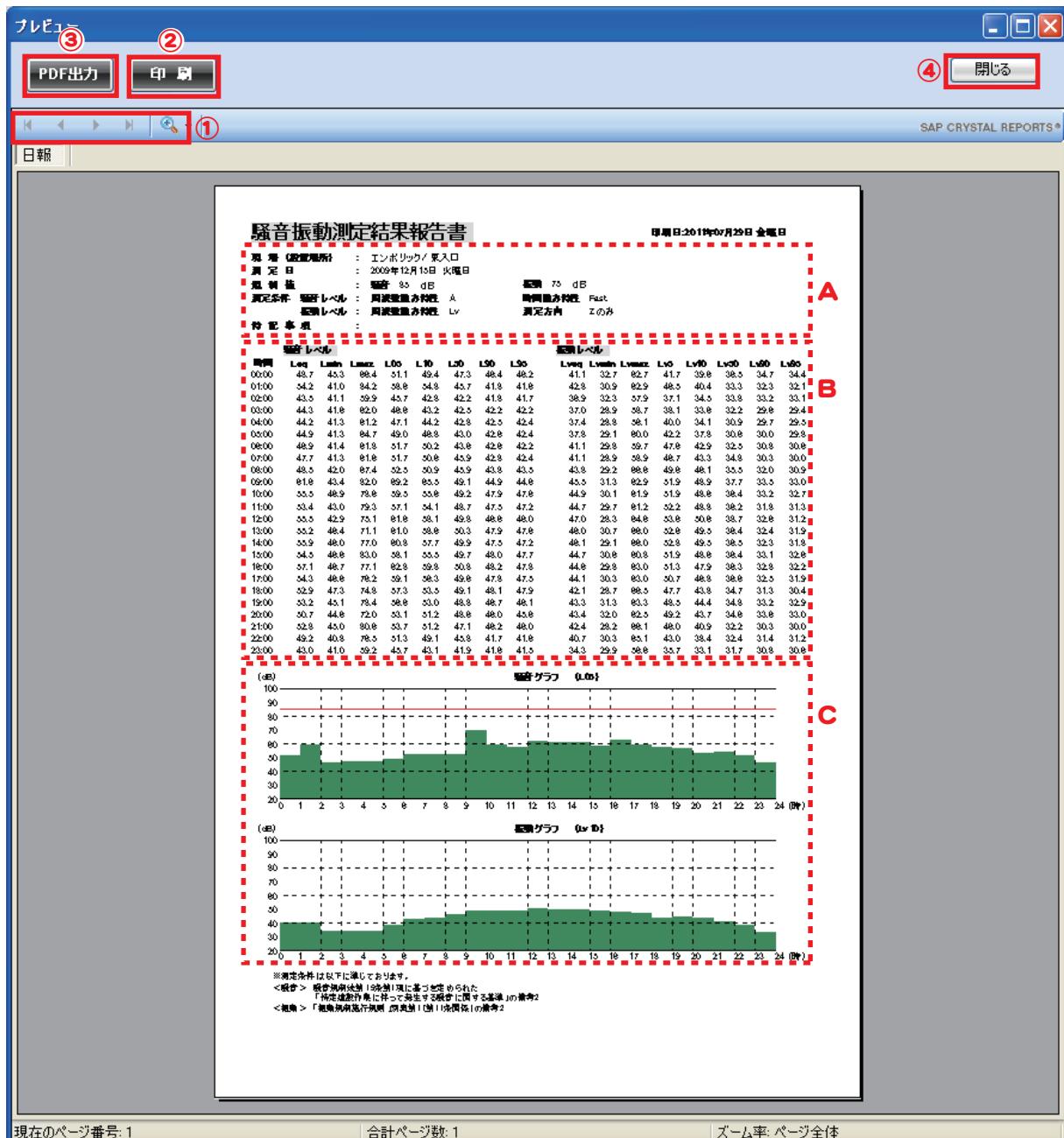
- ① プレビュー表示の拡大縮小や、ページの変更を行うことができます。
 - ② [印刷]ボタンをクリックすると、プリンタの設定画面が開き印刷を行うことができます。
 - ③ [PDF出力]ボタンをクリックすると、PDFファイルとして保存することができます。
 - ④ [閉じる]ボタンをクリックすると、プレビュー画面を閉じます。
- A. 測定情報が表示されます。
B. グラフ表示項目の測定値(10分平均)が表示されます。
C. 日報画面で選択した項目のグラフが表示されます。

日報印刷プレビュー

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

日報印刷プレビュー（1時間演算印刷）

日報印刷画面で選択した内容のプレビューを確認し、印刷を行います。



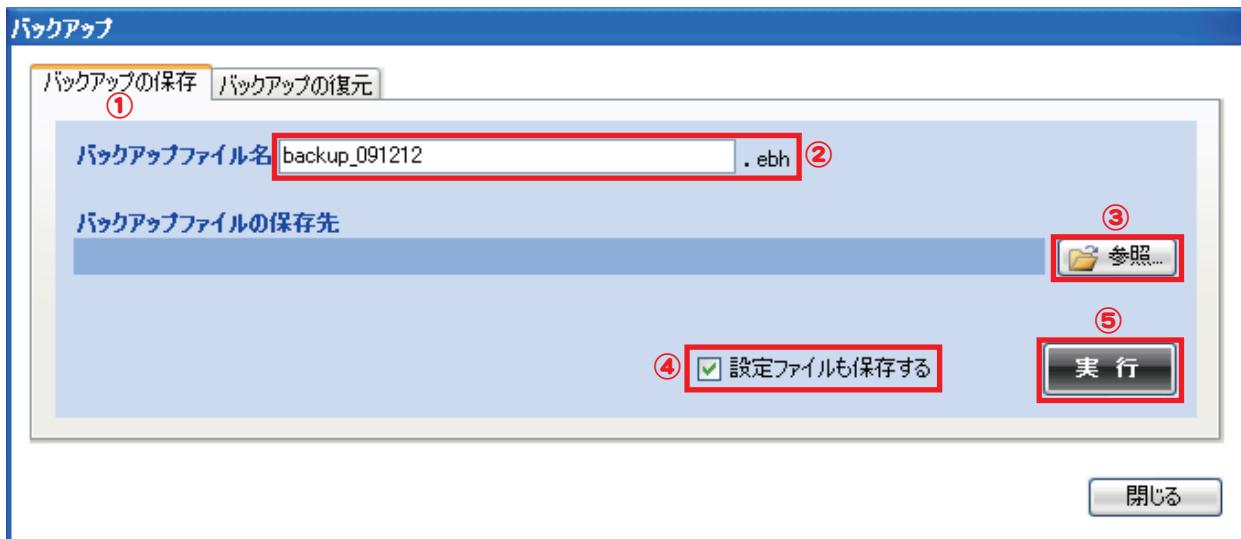
- ① プレビュー表示の拡大縮小や、ページの変更を行うことができます。
 - ② [印刷]ボタンをクリックすると、プリンタの設定画面が開き印刷を行うことができます。
 - ③ [PDF出力]ボタンをクリックすると、PDFファイルとして保存することができます。
 - ④ [閉じる]ボタンをクリックすると、プレビュー画面を閉じます。
- A. 測定情報が表示されます。
B. 日報画面で選択した項目の測定値(1時間平均)が表示されます。
C. 日報画面で選択した項目のグラフが表示されます。

バックアップ

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

バックアップ

取り込んだデータのバックアップを保存します。



① [バックアップの保存]タブを開きます。

② バックアップファイル名を入力します。既定は「backup_ + 日付」の形式です。

③ [参照...]ボタンをクリックし、バックアップファイルの保存先を指定します。

④ 設定も保存したい場合は、[設定ファイルも保存する]にチェックを入れます。

※保存されるのは、規制値設定とオプションのログデータ保存チェック、取り込みが完了したデータの削除チェックのみです。

⑤ [実行]ボタンをクリックすると、バックアップが開始されます。

バックアップするサイズにより、しばらく時間を要する場合があります。

⑥ 「バックアップが完了しました。」のメッセージが表示され、バックアップの完了です。

[閉じる]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

バックアップ復元

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

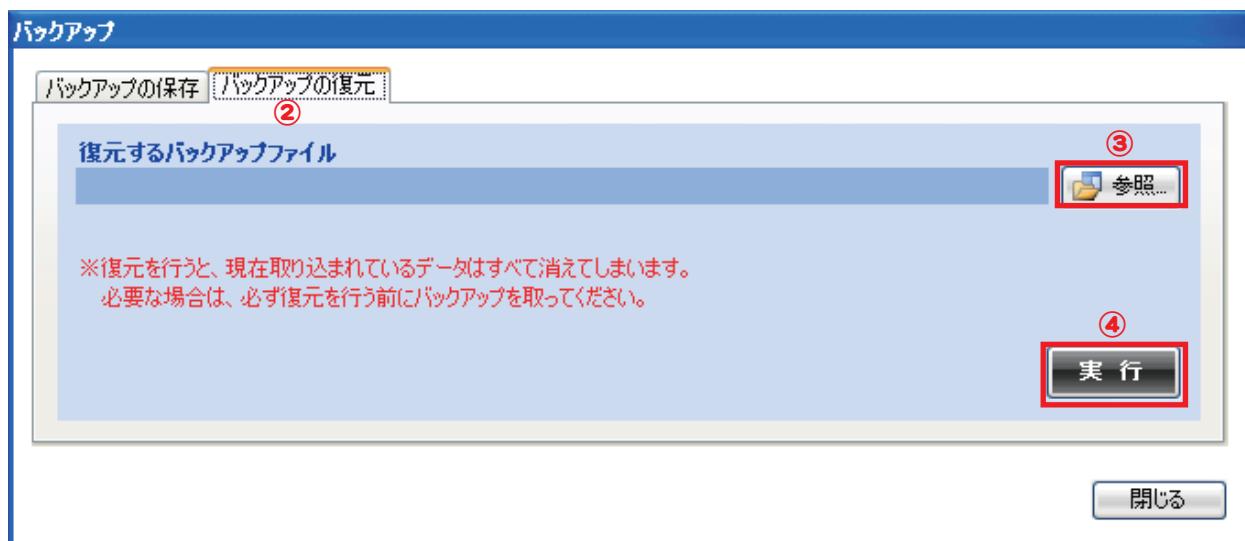
バックアップ復元

保存したバックアップの復元を行います。

バックアップの復元は、オプションの保存先で指定した場所に行われます。
保存先に別のデータがある場合は、それらは消えてしましますのでご注意ください。

- ① ソフトを起動し、バックアップ画面を開きます。

※起動時に測定場所情報画面が開いたら、何も登録せず[閉じる]ボタンをクリックしてください。

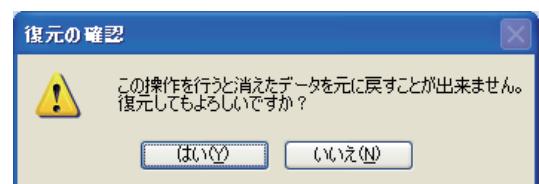


- ② [バックアップの復元]タブを開きます。

- ③ [参照...]ボタンをクリックし、復元するバックアップファイルを指定します。

- ④ [実行]ボタンをクリックすると、確認のメッセージが表示されます。
続けてもよければ[はい]ボタンをクリックしてください。

※[はい]ボタンをクリックすると、作業を中止することができません。



- ⑤ バックアップの復元が開始されます。

復元するサイズにより、しばらく時間を要する場合があります。

- ⑥ 「バックアップの復元が完了しました。」のメッセージが表示され、復元の完了です。
[閉じる]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

測定場所情報の 変更・削除

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

測定場所情報の変更・削除

測定場所情報の変更や削除を行います。

測定場所情報

現場名	設置場所	測定開始日	測定終了日
▶ エンボリック	東口		
エンボリック	西口		

現場名 エンボリック 設置場所 東口 測定開始日 測定終了日 新規保存 **更新** ②

削除 ③

測定データ削除...

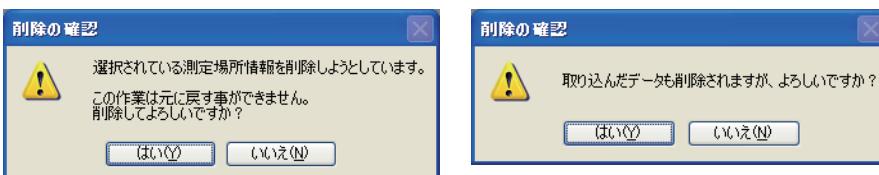
閉じる

- ① 変更または削除を行いたい測定場所情報を、一覧から選択します。
- ② 変更を行う場合は、変更したい項目を修正して[更新]ボタンをクリックします。

現場名：現場名を入力してください。日本語入力可 [必須]
設置場所：設置場所名を入力してください。日本語入力可 [必須]
計測開始日：yyyy/mm/dd 形式で日付を入力してください。
計測終了日：yyyy/mm/dd 形式で日付を入力してください。

※ 「現場名」と「設置場所」はそのまま保存フォルダ名になるため、フォルダ名に使えない文字は入力できません。

- ③ 削除を行う場合は、[削除]ボタンをクリックします。
確認のメッセージが2回表示されますので、よければ[はい]ボタンをクリックしてください。



選択された測定場所情報で取り込んだデータも、すべて削除され元に戻すことはできません。

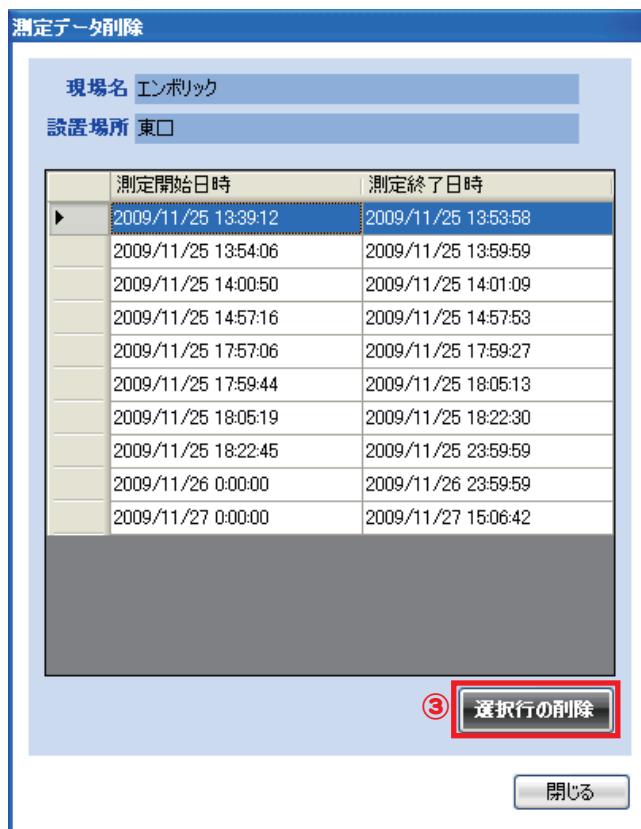
測定データの削除

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

測定データの削除

測定データの削除を行います。

- ① 測定場所情報画面で、測定データを削除したい測定場所情報を一覧から選択します。
- ② [測定データ削除...]ボタンをクリックすると、測定データ削除画面が開きます。



- ③ 削除したい測定データを一覧から選択し、[選択行の削除]ボタンをクリックします。
確認のメッセージが表示されますので、よければ[はい]ボタンをクリックしてください。

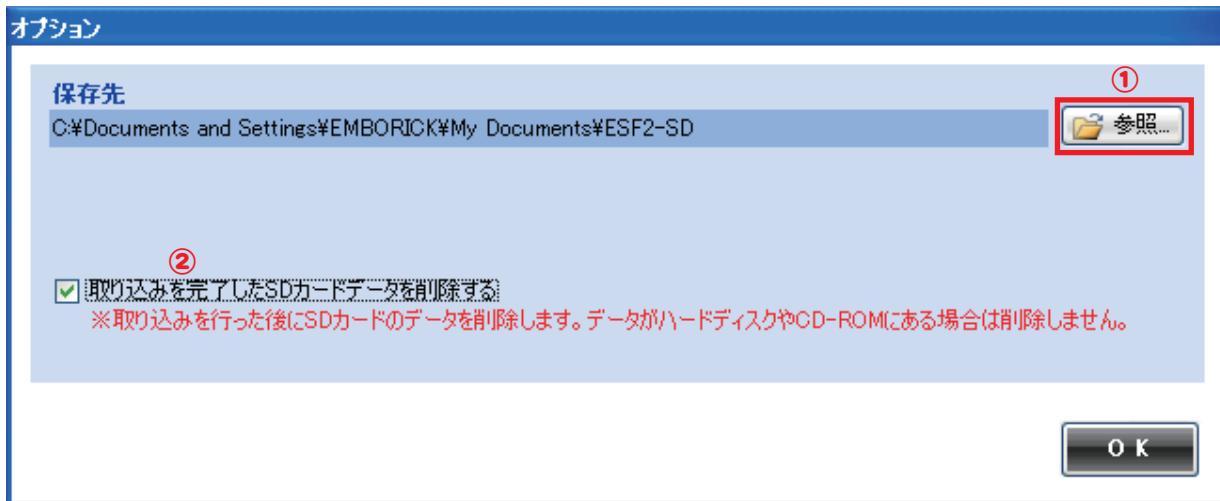
選択された測定データのすべてが削除され、元に戻すことはできません。

オプション

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

オプション

各種設定を行います。



- ① [参照...]ボタンをクリックして、取り込んだ測定データの保存先を指定します。

※既定では、ログインしているユーザーのマイドキュメント内に「ESF2-SD」というフォルダを作成して保存先とします。

- ② [取り込みを完了したSDカードデータを削除する]にチェックをすると、SDカードなどリムーバブルディスクから取り込んだ際に、削除確認のメッセージを表示します。

重要

この項目にチェックをしていても、取り込んだデータがハードディスクやCD-ROMにある場合は削除を行わないため、削除確認のメッセージも表示されません。

ソフトの終了

EBH2シリーズ
騒音振動日報
for SDカード

ソフトの終了

「騒音振動日報 for SDカード」を終了します。

- ① メニューの[終了]ボタンをクリックします。



- ② ソフトが終了します。
(特にメッセージの表示はありません。)

株式会社エンボリック

〒361-0001 埼玉県行田市北河原705番地
TEL : 048-557-3266／FAX : 048-557-3421

第3版：2011年7月29日